

本態性振戦

本態性振戦

歩き方(足取り)やバランス感覚も影響を受けることがあります、**初期兆候は震えです。**

運動時振戦: 運動中に震えが発生します。

手書き文字が**大きくぶれがち**になります。

患者の50%に本態性振戦(ET)の**家族歴**があります。

振戦は身体の両側(左右両方)に出ることが多く、症状の程度が**左右で異なる**のが普通です。

振戦は手や頭、声に影響しますが、**足にはほとんど影響しません。**

パーキンソン病

症状には**動作運動緩慢**(運動実行における遅さ)、こわばり、**振戦および歩行/バランス感覚の問題**などがあります。

安静時振戦: 筋肉を使っていないときに、振戦が発生します。

手書き文字が**遅く小さく**なりがちです。

パーキンソン病(PD)患者には**家族歴はほぼありません。**

通常、振戦は**身体の片側から始まり**、その反対側に広がります。

振戦は**手足**に影響を与えますが、頭や声にまで及ぶことは**ほぼありません。**



振戦の負担を軽減する道のりはここから始まります。

[ESSENTIAL-TREMOR.COM/CANDIDATE](https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3475963/)